

抗 議 文

米原子力潜水艦オリンピアの横須賀基地入港に強く抗議する。横須賀基地は原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦オリンピアはただちに横須賀港を出て行くことを要求する。

在日米海軍司令官 テリー・クラフト少将 殿
米海軍横須賀基地司令官 デービット・グレニスター大佐 殿

神奈川県労働組合総連合
新日本婦人の会神奈川県本部
神奈川県商工団体連合会
神奈川県平和委員会
安保廃棄神奈川県統一促進会議
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会
原水爆禁止神奈川県協議会

2月11日午後4時07分、ロサンゼルス級攻撃型原子力潜水艦オリンピアが横須賀基地に入港した。原子力潜水艦の入港は今年2回目で、通算899回となった。現在、原子力空母ジョージワシントンが横須賀に滞在しており、横須賀基地には、原子炉3基が存在する異常な事態となっている。

米原潜ハワイが2月5日、横須賀港に入港している。このように原子力艦船の入出港が頻繁に行われることに、我々は、原子力艦船の事故の危険や東アジアの軍事的緊張を強めるものである。

「戦争はしない」と決めた憲法9条を持つ日本で、戦争のための軍艦が入出港を繰り返している。これは、米軍が東アジアでの軍事行動を強化していることを意味し、アジア・太平洋の平和と安全にとって害悪をもたらすものである。米軍艦船による東アジア・太平洋での軍事演習は、ただちにやめることを要求するとともに、原子力潜水艦オリンピアの横須賀入港に断固抗議する。

福島原発事故から3年11ヵ月経ったが、未だ12万人が避難生活を余儀なくされ、放射能被害に苦しめられている。われわれは原発事故・放射能被害の悲惨さ、深刻さを目の当たりにしている。首都圏や横須賀基地を含む三浦半島で巨大地震の発生確率が高まり巨大地震による原子力艦船の原子炉事故に強い不安を抱いている。我々はこれまで、再三にわたって巨大地震による原子力艦船の事故の可能性や影響、対策について検証し情報を公開することを要求してきた。しかし、米軍は、「安全だ」「事故は起こらない」という原子力艦船の「安全神話」を押しつけ、詳細な情報の開示を拒否する態度に終始している。県民の要求に答えようとしない中で、原子力艦船のたび重なる横須賀港への入港は到底許されない。この事態に抗議するとともに、改めて巨大地震による原子力艦船の原子炉事故の可能性や影響、対策について明らかにすることを強く要求する。

米原潜の核兵器搭載の可能性も否定できず、「核持ち込み」の問題も重大である。核密約によって核が横須賀に持ち込まれていたことは、すでに明らかになっている。核は積んでいないことを証明すると同時に、核密約はただちに破棄することを要求する。

横須賀基地は原子力艦船の母港でない。原子力潜水艦オリンピアは、ただちに横須賀から出て行くこと。原子力空母GWの「定期修理」は中止し、本国にただに帰国すること。そして、原子力空母ロナルド・レーガンへの交代はやめこと。

以上を強く要求する。